

普及活動情勢報告（平成30年4月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

集落営農組織のステップアップ！ ～ 集落営農塾の開催 ～



山本教授から説明を受ける集落営農組織代表者ら

3月22日、四万十町役場で、広島経済大学山本公平教授を講師に集落営農塾を開催し、8組織13名が参加しました。

普及所は会の開催に向け内容の企画立案や運営を支援しました。集落営農塾では、四万十町における農業の現状や集落営農組織のあり方等についての講義後、参加組織でのグループワークにより集落の現状を共有しました。

参加者からは「今日の会は今後の集落営農の取組の参考になった。集落に持ち帰り話をしてみる。」などの声が聞かれました。

普及所は、今後も集落営農組織のステップアップに向け、集落営農塾の開催など研修の場づくりを支援していきます。

エコ栽培米のブランド化に向けて！ ～ JA四万十エコ栽培米生産部会栽培検討会の開催 ～



栽培研修会の様子

3月27日、JA四万十営農総合センター会議室で、JA四万十エコ栽培米生産部会平成30年度栽培講習会を開催し11名が参加しました。

普及所は、29年度の土壌分析結果による土づくり、健苗育苗及び農作業事故防止について指導しました。

参加者からは「稲わらの分解促進にはどのような技術があるか。また、分解しないとどうなるか」など積極的に質問が出されました。

普及所は、今後もJA四万十エコ栽培米生産部会のブランド化に向け高品質・良食味米の生産を支援していきます。

平成29年度の取組を共有 ～四万十の栗クラスタープロジェクトチーム会の開催～



チーム員との意見交換の様子

3月28日、四万十町役場十和振興局で、四万十の栗プロジェクトチーム会を開催し、チーム員（関係機関、法人）12名が出席しました。

チーム会では、プロジェクトの中心となる法人から栗のペースト加工施設が9月に整備され新たな雇用が生まれたこと、関連法人からは商品開発の取組などの報告があり、本年度の取り組みや次年度に向けた計画についての情報共有を行いました。

普及所は、今後もクラスターの核となる農業法人や関係機関・団体と連携し、農業クラスターの形成を支援していきます。

苗のスムーズな活着を！ ～JA四万十夏秋ピーマン部会栽培講習会～



資料を見ながら説明を受ける参加者

4月4日、JA四万十で、JA四万十夏秋ピーマン部会栽培講習会を開催し、生産者28名が参加しました。

普及所からは、昨年苗の活着不良が多かったことを踏まえ、「よりスムーズに活着させるためには」と題し、定植時のポイント（土壌分析、薬剤、かん水等）について説明しました。

参加者の中には新規の生産者もあり、「植穴粒剤っていつ混ぜ込む？手かん水はどんな方法があるの？」といった質問があり、意欲的な姿が見られました。

今後も関係機関と連携し、病害虫講習会やアドバイザー巡回により、夏秋ピーマン栽培の基本技術を普及すると共に、新規生産者を支援していきます。

増収に向けて！ ～JA高知はた十和支所オクラ部会栽培講習会～



栽培講習会の様子

4月12日、北幡営農センターで、JA高知はた十和支所オクラ部会栽培講習会を開催し、生産者5名が参加しました。

普及所からは、オクラ栽培のポイントとして、定植後の初期管理や農薬の防除モデルについて説明しました。

参加者からは「前作のとき葉が焼けたようになったけど、どうしてだろうか？」「樹勢の見極め方は？」といった質問があり、積極的にメモをとる様子が見られました。

普及所は今後もJAと連携し、巡回等により水管理や病害虫防除等の基本技術の徹底を図り、増収に向けて支援します。